

2021年12月9日

横浜ゴム、高性能ストリートスポーツタイヤ「ADVAN NEOVA AD09」を新発売

横浜ゴム（株）はストリートスポーツタイヤの新商品「ADVAN NEOVA AD09（アドバン・ネオバ・エイディゼロ キュウ）」を2022年2月より日本を皮切りにアジア、北米地域で順次発売します。発売サイズはスポーツカーから世界的なプレステージカーまで対応する275/30R20 97W XL～165/55R15 75Vの20サイズで、2022年末までに21インチまでを含む計60サイズを追加する予定。価格はオープンプライス。

「ADVAN」は世界有数のプレミアムカーへの新車装着、卓越した高性能商品ラインアップ、モータースポーツでの実績などによりYOKOHAMAを牽引するグローバルフラッグシップブランドです。「ADVAN NEOVA」はモータースポーツ、サーキットをルーツにした“ADVAN最強のストリートスポーツタイヤ”をコンセプトに、様々なモータースポーツ活動で培った最新のレーシング技術を惜しみなく投入し、走りやカスタムチューニングを愛する多くのユーザーから圧倒的な人気を得る商品として成長してきました。

「ADVAN NEOVA AD09」は従来品「ADVAN NEOVA AD08R」の後継モデルとして9年ぶりとなる新商品です。「ADVAN NEOVA」シリーズの特長である“一番速く、一番楽しい”を継承しながら、最強^{※1}のストリートタイヤに相応しいドライグリップ、コントロール性、耐摩耗性能のさらなる進化を追求しました。部材から見直し再設計した新構造や強さとしなやかさを追求した新プロファイルにより、YOKOHAMA 史上最高レベル^{※2}のケーシング剛性を実現しています。また、緻密に最適化した専用の非対称トレッドパターンと粘弾性のバランスを追求した新コンパウンドを採用。これらにより、ラップタイムの短縮が期待できるドライグリップに加え、アマチュアドライバーを助ける優れたコントロール性、サーキット走行でも長く使用できる耐摩耗性能を実現しています。さらに、カスタムチューニングにおける外観も妥協なく追求し斬新かつ洗練された独自性の高いパターンデザインに加え、コントラストを鮮明にしたブランドロゴなどがカスタムチューニングカーに見合う“カッコよさ”を提供します。

※1 当社商品中 ※2 市販向け夏用タイヤにおける比較



ADVAN
NEOVA
AD09

横浜ゴムは 2021 年度から 2023 年度までの中期経営計画「Yokohama Transformation 2023 (YX2023) 」(ヨコハマ・トランスフォーメーション・ニーゼロニーサン) のタイヤ消費財事業において高付加価値商品の主力であるグローバルフラッグシップタイヤブランド「ADVAN」、SUV・ピックアップトラック用タイヤブランド「GEOLANDAR」、そして「ウィンタータイヤ」の販売構成比率最大化を掲げています。2022 年度は夏用タイヤの販売強化を計画しており、「ADVAN」ブランドでは「ADVAN NEOVA AD09」のほか、グローバルフラッグシップタイヤの新商品「ADVAN Sport V107」を同時期に発売します。

発売サイズ

インチ	扁平率 (%)	タイヤサイズ	発売月
20	30	245/30R20 90W XL	2月
		275/30R20 97W XL	2月
	40	245/40R20 99W XL	3月
		255/40R20 101W XL	3月
19	35	245/35R19 93W XL	2月
		255/35R19 96W XL	2月
		265/35R19 98W XL	3月
		275/35R19 100W XL	2月
	40	255/40R19 100W XL	3月
18	35	245/35R18 92W XL	3月
		255/35R18 94W XL	2月
		265/35R18 97W XL	2月
	40	225/40R18 92W XL	2月
		235/40R18 95W XL	2月
17	45	195/45R17 81W	2月
		205/45R17 88W XL	3月
		215/45R17 91W XL	2月
		225/45R17 94W XL	2月
15	55	165/55R15 75V	2月
		185/55R15 82V	2月

※XL はエクストラロードタイヤとなります。

このリリースに関するお問い合わせ先
 横浜ゴム(株) 経営企画部 広報室 担当: 池田
 TEL: 03-5400-4531 FAX: 03-5400-4570

緻密に設計したトレッドパターン&プロファイル

Wet

IN-SIDE

ADVAN HF Type Dを継承

太い縦溝を配置することで、排水性の確保

ラウンドした溝配置は排水性に効果を発揮

縦溝を横切る長めのラグ溝で、更なる排水性を確保



Dry

OUT-SIDE

AD08Rを継承

縦溝は細く、イン側に寄せ、可能な限り接地面積を確保

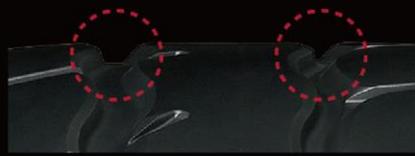
連続するリブによるトレッド剛性の確保

ラウンドした縦溝により、横力を分散し、リブ角の削れを抑制

溝面積比は維持しつつ、面取りを採用



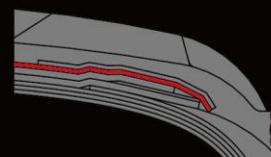
溝壁角度をIn側/Out側で変更



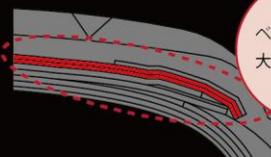
リブ角の削れが大きく改善し、サーキット摩耗の向上に寄与!

カーカス材を大きく変化させた新構造

AD08R

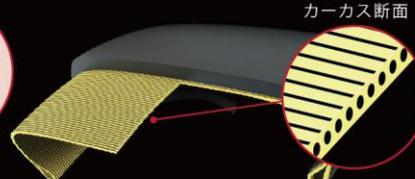


AD09

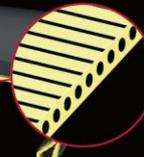


ケーシングの剛性向上

ベルト剛性を大幅に向上!



カーカス断面



センター部は2層、ショルダー部は3層設計

コードの本数とカーカスの厚さUP!

ヨコハマ史上最高レベルのケーシング剛性を実現

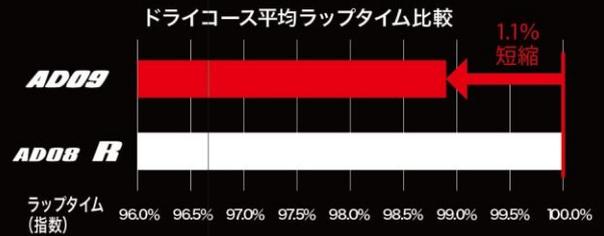
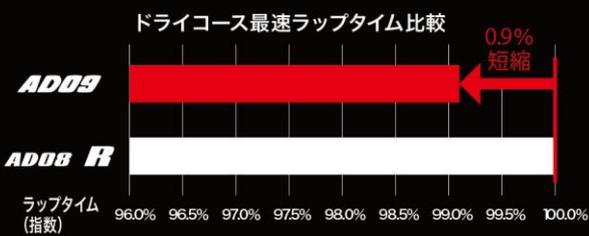
※一部サイズを除く

洗練されたサイドデザイン

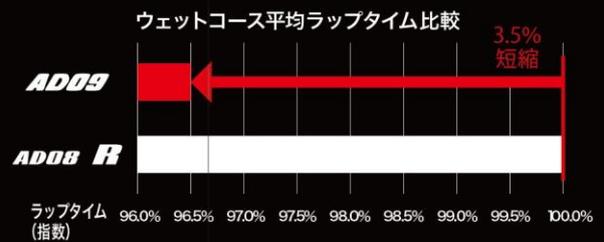
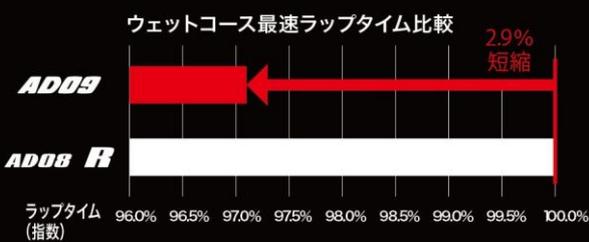
コントラストが鮮明になり、プレミアム感を演出する新金型加工&サイドプロファイル



性能比較データ



<試験条件>テスト場所:エビスサーキット東コース/評価車両:SUBARU WRX STI(型式:CBA-VAB、排気量:1,994cc、駆動方式:全輪駆動(AWD))/タイヤサイズ:255/35R19(空
気圧:180kPa)/ドライバー:当社委託ドライバー



<試験条件>テスト場所:筑波サーキット コース2000/評価車両:TOYOTA GR SUPRA(型式:3BA-DB02、排気量:2,997cc、駆動方式:後輪駆動)/タイヤサイズ:255/35R19(フロ
ント)、275/35R19(リア)(空気圧:180kPa)/ドライバー:当社委託ドライバー